



陽あたり、良好!



令和3年

1月25日(月)

【No. 35】

『“あの時”頑張っておけば…』

いよいよ、3年生の動きが慌ただしくなってきました。先週末、私立高校の推薦入試というものが行われ、明日からの2日間は都立高校の推薦入試日となります。受験シーズンまっただ中ということで、3年生も落ち着かない日々を送っているわけです。みなさんも、2年後に間違いなく同じような状況を経験するのです。2年間なんて、あっという間ですよ…。



ところで、この時期になると3年生からよく耳にするせりふがあります。「あ～、1年生からもう一度やり直したい!」「あの時、もっと頑張っておけばよかった」……などなど。これから受験を迎える人、入試を終えて思うような結果が出なかった人など、様々な人から聞かれる言葉です。自分の進路を決める大切な時期を迎え、自分の力不足、努力の足りなさを痛感して、心から悔やんで出てきた言葉なのでしょう…。『後悔先に立たず』という諺の通り、人はいよいよというときにはならないと本当の意味で真剣に物事を考えず、^{ことわざ}「しまった、こうしておけば…」という思いを繰り返してしまうのかもしれません。受験間近になって、「1年生から…」とか「あの時に…」などといっても、タイムマシーンに乗って過去に戻れはしないのです。冷たいようですが、3年生は“今現在の自分の力”で未来を切り開かなくてはならないのです。

さて、みなさんは現在1年生ですよ。そうです、今まさに3年生たちが戻りたがっている“1年生”なのです。そして、今が3年生たちが頑張っておけばよかったと振り返っている“あの時”なのです。どうですか、そう聞かされてみなさんはピンときますか…!? 現在の自分の学習に対する姿勢を考えてみましょう。「授業態度」「家庭学習」「提出物」などの基本的な取り組みや、冬休み明けに行われた確認テストなどにどのように臨んだかなど、振り返ることは山ほどあるはずです。“まだ1年生だから…” “部活やゲームの方が楽しいから…”などと、学習をおろそかにしたり、やるべきことから逃げ回っていると、きっといつの日か『後悔』の2文字が心に重くのしかかってくることでしょう。

もう一度いいますが、タイムマシンはありません。あとになっていくら「1年生からやり直したい」「あの時頑張っておけば」と考えても、もう戻ることはできないのです。

「あの時頑張っておけば」の“あの時”とは、みなさんにとってまさに“今”なのです。そのことにあとで気づくのでは遅いのです。気づくなら“今”をおいて他にありません。ぜひ、毎日の取り組みを全力投球で頑張っていきましょう!!

『ローテーション道德について』

現在、1年生では「ローテーション道德」を行っています。道德の授業は、通常は担任の先生が担当しますが、この取組では1学年所属の先生たちが、自分を取り上げたテーマで4クラスに同じ授業を行うというものです。この数年、ひばり中では学校内の先生たちの研修で、「道德の授業の進め方」の研究に取り組んでいます。この「ローテーション道德」も、その一環として行われているのです。すでに、2学期には4人の担任の先生による「ローテーション道德」を行いました、3学期は副担任の3人の先生も加えて、7人の先生による「ローテーション道德」を行っています。今週は、その3回目となります。



<各先生の担当するテーマ>

- | | |
|------------------------|-----------------|
| * 綿貫先生……『勤労』 | * 岩元先生……『公正・公平』 |
| * 小林先生……『相互理解・寛容』 | * 新井先生……『誠実・責任』 |
| * 小池先生……『生命の尊さ』 | |
| * 宮澤先生……『礼儀』 | |
| * 中條先生……『我が国の伝統と文化の尊重』 | |



すでに行われた道德の授業の様子を先生たちに伺ってみると、みなさんの積極的な姿勢が伝わってきます。先生の問いかけに対してたくさんの手が上がったり、作業に真剣に取り組んだり、ワークシートには意見や感想がしっかりと書かれています。現在は、新型コロナウイルスの影響で、グループワークは控えなくてはいけないので、班単位での話し合い活動などが行えずに残念ですが、できる範囲での活動にしっかりと取り組んでいます。

ところで、道德の授業でみなさんに大切にしてほしいことが二つあります。

一つ目は、「何事にも自分の考えをもつ」ということです。道德の時間では、様々なテーマが取り上げられますが、その一つ一つの話に、「自分はこのように考える」という意見をしっかりと持ってほしいのです。本に書いてあるから、大勢がそういう考えだから、先生が言っていたから…、などに左右されることなく、自分としてはこう思うという気持ちを大切にしてください。取り上げた話題には、何か一つの『正解』があるわけではなく、様々な考え方がどれも大切で、ある意味では“どれも正解”なのです。ですから、ぜひ自分の考えに自信をもってください。

その上で、二つ目は、「人の考えに耳を傾ける」ということです。一見、一つ目のことと相反するように思えるかもしれませんが、そうではないのです。自分の意見をしっかりと持つことは大切ですが、その考えに固執し過ぎないことも必要なのです。クラスに30人以上いれば、一人一人の意見は様々なはずで、きっと、自分とは感じ方や考え方が違う仲間もいるでしょう。でも、その意見に触れることによって、自分は考えもしなかった新たな発見があったり、自分の考えがさらに深まったりすることもあるのです。ですから、ぜひ広い視野をもって、柔軟な姿勢でたくさんの考え方に触れてみてください。

今後も、道德の時間がみなさんにとって意義深いものとなるように、先生たちもしっかりと準備や研究を重ねていきます。みなさんも、ぜひ前向きな姿勢で取り組んでください！